

第 4 回 新庄市道の駅検討委員会 会議録

開催日時	平成 29 年 12 月 8 日（金）午後 2 時から午後 5 時 15 分まで
開催場所	新庄市役所第二庁舎 会議室

出席者（敬称略・順不同）

・委員（10 名）

No.	氏 名	所 属 団 体	備 考
1	佐藤 慎也	山形大学学術研究院 教授	委員長
2	井上 達也	新庄市農業協同組合 理事参事兼企画管理部長	
4	大場 清文	新庄商工会議所 専務理事	
5	津藤真知子	株式会社もがみ物産協会 専務取締役	
6	大類 好一	新庄観光協会 事務局長	
7	鳥村 成実	有限会社トランスオーシャンツーリスト 専務取締役	
8	白鳥 忠明	株式会社カキザキニューグランドホテル 支配人	
9	樋口 修	エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会 実行委員長	
11	金田 孝司	一般社団法人山形県建設業協会最上支部 副支部長	
12	伊藤 元昭	新庄市副市長	副委員長

（欠席委員 2 名）

・アドバイザー（2 名）

No.	氏 名	所 属 団 体
1	河本 直志	国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所調査第二課 課長
2	菊地 昭雄	山形県最上総合支庁建設部建設総務課 副主幹

・コンサルタント（2 名）

No.	氏 名	所 属 団 体
1	黒川 朋広	ランドブレイン株式会社仙台事務所 所長
2	山路 省一郎	ランドブレイン株式会社仙台事務所 室長

・事務局 3 名

No.	氏 名	所 属 団 体
1	土田 政治	新庄市都市整備課 課長
2	外塚 智	新庄市都市整備課 都市計画室長兼高速道路対策室長
3	日塔 渉	新庄市都市整備課 主事

会議事項

(1) 開 会
(2) 第3回検討委員会（外部視察）での感想
(3) 協議事項 ①各候補地の立地場所の評価について ②新庄市道の駅の検討について（コンセプト・導入機能）
(4) その他
(5) 閉会

(2) 第3回検討委員会（外部視察）での感想

視察に参加し、今回出席している6名の委員及びアドバイザーより感想をいただいた。

(3) 協議事項

—事務局説明—

※第2回で検討した候補地Dについては、一体型での整備は見込めないとのことから新庄IC周辺で、県道との一体型を検討できる場所に変更を行った。参考資料1を参照のこと。

①各候補地の立地場所の評価について

委員) 今日見学した候補地4カ所以外だったが、今回追加で視察させていただいた新庄ICの新庄酒田道路と東北中央自動車道の交差部分は道の駅候補地として検討できないか。

事務局) 今回提示した候補地4カ所以外の候補地についても考えることも可能だが、今話題に出た場所というのは、高速道路の交差部分であることから直接乗り入れができればいいが、そのためには、道路整備に相当の費用がかかると考えられる。国としてアクセスについてのお考えをお聞きしたい。

アドバイザー(国))

アクセスの点からいうと、高規格道路になっているので、道の駅のアクセス道路をしては、印象として難しいのではないか。酒田方面からはスムーズに行けるが、逆方面からのアクセスはどうするのかという課題がある。一旦高規格道路から降りて新たにアクセスする道路を整備すれば可能かもしれない。

委員長) 高速における制限速度のことも考えるとなかなか難しい。一旦高速道路を降りてもらえれば可能だと思うが。

委員) 新庄酒田道路と東北中央自動車道の交差部分であるので、仙台、秋田方面や最上郡内の方など様々な車から見える利点があると感じた。

※後日山形河川事務所に確認していただいたところ、新庄酒田道路と東北中央自動車道の交差部分に直接アクセス道路を取り付けることは難しいとの回答を得た。

委員) 新庄酒田道路と東北中央自動車道の交差部分はI CというよりはJ C T的な役割、新庄北I C周辺の候補地はないのか。

また、旅行業の観点から考えると候補地Bも魅力的だ。候補地BはI CとI Cの間であるので、わざわざ元のI Cへ戻る必要もないので、候補地Bもいいのではないか。

委員) 候補地Bについては、県立病院立地を考えると、今後病院のアクセスのための道路の整備が進むと考えられる。候補地Bを考えた場合、中の川よりも東側(東山近辺)の方がいいのではないか。市道からのアクセスもできる。ただ用地がものすごく値上がりしている。土地の購入だけで多くの費用がかかるのではないか。場所的には候補地Bが一番いい感じがした。病院がなくても魅力がある。

事務局) 一体型の整備を考えた場合、国道13号に接道しつつも、メインの施設は中の川の東側(東山付近)にするということか。

委員) 東山付近には市民体育館、陸上競技場、野球場、テニスコートなどが集積しているので、様々なスポーツ大会の関係者の需要が見込める。候補地Aは市有地があるので、土地を求めるには適していると思うが。

委員) 東北中央自動車道が仮に秋田までつながった場合の国道13号線の交通量が半減するのではないかという懸念がある。そうなるとやはり候補地Dのような高速I C付近がいいのではないか。

委員) 基本的には、国道13号と国道47号が交わる地点がいいと考えている。ただ、候補地Bは県立新庄病院があることで集客が見込めるのではないか。

新庄商工会議所を中心に行った道の駅検討会では、県立農林大学校付近という話も出ていた。

事務局) 農林大学校の付近については、事務局の方で、事前に農林大学校へヒアリングを行った。ヒアリングでは、農林大学校はあくまで教育機関であり、道の駅整備に向けた協力は限定的であるとの話をされた。

また、高速道路の設計については、新庄北I Cまで出来上がっており、新庄北I Cの次のI Cである昭和I Cに道の駅を計画するのであれば別だが、新庄北I Cに取り付け道路をつけるだけでも数億円のコストがかかってしまう可能性がある。したがって、新庄北I C付近や農林大学校付近については道の駅の候補から外した経緯がある。

東北中央自動車道が昭和I Cまで開通した場合に、国道13号の交通量はどのくらい減少すると考えているのかをお聞きしたい。

アドバイザー(国))

どのくらい減少するか現時点で公表しているものはないが、長距離移動の交通は大きく転換することが予想され、国道13号の減少は考えられる。

委員) 候補地Cについては使われていない病院や太陽光パネルなどがあるので、厳しいのではないか。

委員) 新潟では、高速道路の開通により国道7号線沿いのドライブインが減ってきている。高速道路ができればそういうことが起こってくる。

委員) 東北中央自動車道尾花沢 I C から秋田湯沢 I C までトイレ休憩施設がない形になる。ただ、現時点でトイレ休憩で尾花沢 I C に寄る観光バスが少ない気がする。

委員) 中身が充実している道の駅であれば立ち寄る。

委員) 新庄北 I C から県立新庄病院とのアクセスはよくなるのか。

委員) 新庄北 I C から県立新庄病院のアクセスを県は整備するはず。緊急車両のことを考えると整備しないといけない。道路的にはそんなに不便はないと思う。

委員長) 私が視察した印象だと、候補地 A に関しては、周辺環境の魅力があるし、そんなに市街地に遠くない。候補地 B は県立病院、スポーツ施設の集積、雪むろ施設など様々な可能性が考えられる。

候補地 D は高速からのアクセスの良さと市内 2 つの高校（新庄神室産業高校、新庄東高校）と近いことでのチャレンジショップみたいなことも考えられる。

委員) 候補地 A では、まゆの郷との調整ができるのであれば良い。候補地 B については、様々な可能性のイメージができた。東山のスポーツ施設を利用している方の利用等を考えれば魅力はある。県立病院の完成時期より道の駅の完成時期が早くなるのであれば、県立新庄病院との調整が必要となってくる。道の駅だけが置いてけぼりになってしまうリスクはある。エコロジーガーデンの環境も守られるし、連携もできるのではないか。

委員) 新庄の道の駅はいつごろまでの完成を目指しているのか。

事務局) 最低でも 4 年、5 年以上かかる場合がある。現時点では、5 年から 6 年くらいと考えている。

委員) 県立病院は来年度から設計を 2 年かけて、整備に 3 年くらいかかると新聞記事に掲載されてあった。そうなれば、県立病院と道の駅整備の時期はそこまで違いはないと思う。ただ、用地買収ができるかどうかが一番のネックだ。

委員) 候補地 B については東山寄りでの道の駅の建設を考えた場合、一体型で整備できるのか。

アドバイザー（国）

基本的には国道に道の駅が接していないといけない。どの道路から道の駅へ接続しているのかが重要。

委員) せつかく整備して 3 年で経営厳しくなるようでは駄目。長期的な経営ができる集客力のある道の駅が必要。高規格道路付近などの交通アクセスが良い場所がいいのではないかと感じていたが、今までの話を聞いて候補地 B にも魅力があることも理解できる。

委員) 新庄市内には、観光客がゆっくり食事できる施設が少ないと言われる。しかし、市内の観光関連業者との連携したものにしてほしい。

委員) 県外のお客さんで、食事をする施設としてホテルを利用することは多い。道の駅ができることで、お客様が流れることもあると思うが、ホテルとして差別化をしている努力を行っている。旅行会社の観点からすれば、駐車場が広い方に流れるのは仕方がない。

②新庄市道の駅の検討について（コンセプト・導入機能）

- 委員) 山形県商工会議所連合会では毎年国への要望活動を行っている。その中で、新庄商工会議所は国宝である縄文ヴィーナスを見学できる博物館を含めた道の駅構想を3年連続で提案している。
- 委員) ドクターヘリなどの防災・医療面の充実がほしい。
- 委員) 新しい県立病院には設置するはず。
- 委員) 候補地Bを考える場合、ドクターヘリについてはただ降りるのではなく、降りるアプローチも考えていることから、その面も県との調整が必要だ。
- 委員) 道の駅整備によってドクターヘリのアプローチは一定の制約を受ける可能性はある。
- 委員) 用地の買収は基本的には市で行っていくのか。
- 委員) 基本的には市で土地の買収は行っていく。市としては長続きするような施設にしないといけない。市が直接運営することは考えていないので、どんな事業者が運営するのも整備と並行して考えていかないといけない。
また、事業者の話を聞きながら事業展開しやすいような整備も必要になってくる。
- 委員) 看護師養成学校はどこに建設予定なのか。
- 委員) 現状は構想中で、教える指導者の確保が難航している。ベストは県立病院そばがいいとは思いますが、用地買収コストなども考慮しなければならない。まだ看護師養成学校の立地場所は決まっていない。
- 委員) 委員の方の意見をお聞きしながら市で決定していく。
- 委員) 12月議会の市長答弁でも12人の委員の意見を十分に反映させていくとの発言があった。
- 委員) 食べ物の魅力が一番の集客力となる。飲食機能の充実は重要だ。
- 委員) 道の駅に入る機能、施設の制限はあるのか。
- アドバイザー（国）

基本的には運営者にまかせている。公序良俗に反しないのであれば特段の制限はない。

- 委員) 新しくできる米沢の道の駅では、山形県内の酒蔵全ての日本酒銘柄が飲めるらしい。そのくらいのことをしないといけない。
- 事務局) 基本的な道の駅にプラスした機能を求めているのが国の方針だ。プラス機能を何にするかについて考えなければならない。その辺を踏まえてお話いただきたい。
- 委員長) 新庄の魅力を考えるとユネスコ無形文化遺産である新庄まつりだとどこにも真似できない機能が作れるのではないか。
新庄まつり以外の同時期に「山・鉾・屋台行事」で登録された地域の産品や世界遺産をベースにしてネットワーク化していく。コーディネート化していく。
ユネスコ登録をきっかけに、様々な仕掛けが考えられるのではないか。

委員) 一年中、子供たちが遊べる場所がほしい。花咲かフェアの際にかむてん公園に設置されたような全天候型の遊び場は山形県内にはない。国見町の道の駅のように国の補助金を使える子育て施設がいいのではないか。

候補地Aで全天候型の遊び場を作りたいと思うが、候補地Bで8市町村がネットワークを組んで産直をつくることができればどこにも負けない道の駅になる。自分の自治体だけのことを考えるようではうまくいかない。最上8市町村が1つとなって連携しないといけない。それに、戸沢村の道の駅との相乗効果も期待できるのではないか。

アドバイザー(国)

道の駅についてはコンセプトをどうするかが大事。交通量があっても集客不足のところもあれば、交通量はそこまで多くなくても集客力のある施設もある。

高速IC周辺に作ることで、新庄・最上地域のゲートウェイとして観光スポットを周遊ができると思うし、国道13号線周辺に整備すれば、市街地への観光客の誘導ができるのではないか。

道の駅だけが盛り上がりしても仕方がないので、地元の人とどういう連携を取っていくかについても考えていかなければならない。

アドバイザー(県)

道の駅整備においては、コンセプトが一番大事。国では、道の駅で何を指すのかが認定のポイントだと思う。場所それぞれでコンセプトが異なるので、場所とセットでコンセプトについてしっかり議論すること。

(4) その他

最後の第5回検討会では、新庄市道の駅基本構想(案)を提案していく旨の説明を行った。

(閉会)

※発言内容をよりわかりやすく理解していただくために発言の趣旨と逸脱しない範囲で、表現等を編集しております。